

35 体外診断用医薬品の 研究開発で人命救う

株式会社キューメイ研究所

独自の技術



中小の医療機関や夜間診療においても、血栓の分解産物を簡易的に測定できるように県内企業と連携して開発した装置。動物用としても使用できる。

自社の強み



診断薬の原材料となる抗体を外注ではなく社内で製造している。多様な抗体を持ち特性を熟知しているため、優れた抗体同士を自由自在に配合可能。他社にはない製品開発に取り組んでいる。

今後の展望



16年に東日本営業所を設立し計4人が常駐。関東地域の営業強化や海外での販売展開を進める。製品開発にも積極的に取り組む姿勢で、乳幼児用に少量の血液から検査できる小型装置も開発中である。

株式会社キューメイ研究所

TEL 097-545-5051

MAIL medinfo@q-may.jp

住所 大分市大字古国府字永畑549番3

URL <http://www.q-may.jp/>

設立 1991年5月

資本金 1,300万円

従業員 25人



ファクターオートシリーズ製品群

抗体製造の基礎技術を生かし動物へ試薬範囲を応用

血栓症診断薬に強み

体外診断用医薬品の製造販売会社。中でも心筋梗塞や脳梗塞などの原因となる血栓症診断薬に強みを持つ。一般的な診断方法のCTスキャンやエコー検査はコストも時間も要する。同社の診断薬は、採取した血液を専用及び汎用自動分析装置でスクリーニング検査ができる。

医療ベンチャーは研究開発に特化するケースが多いが、同社は製造拠点を持つ。試薬の肝となる抗体を産生する細胞を多数培養できるため、顧客ニーズを反映しやすい環境が整っている。

海外の展示会へ出展

2017年からドイツやシンガポールなど海外の展示会に積極的に出展。来場者から上々の反応を得た。東南アジアなど海外での販売促進に期待する。

働く人の声

製造部開発課
リーダー
杉山 大輔さん

原料製造の基礎技術を背景に、特徴的な反応性を持つ新たな新規診断薬の開発を容易に実施できます。人命を救う製品創出を一緒に進めましょう。

●主な設備

自動分析装置、凍結乾燥機、細胞培養システム

●主な取引先

(株)アステム、正晃(株)、その他試薬ディーラー、県内外医療機器メーカーほか